

科目名 Course Name	国際文化論入門 Cultural Studies				ナンバリング No.	A2-011	
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	雨宮 久美						
連絡方法	C-Learning で対応。または、非常勤講師室（金曜 11:30～14:30）						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP6						
授業の概要と到達目標	<p>欧米・アジア・日本における共通の価値観の源泉である文化とその根底にある各神話・宗教の基礎的要件を習得できるようにする。</p> <p>① 「文化」の定義を明らかにできるようにする。</p> <p>② 「文化」形成の根底にある各神話・宗教の基礎的要件を習得できるようにする。</p> <p>③ 「文化」の形成された諸外国の基礎的要件を習得できるようにする。</p>						
授業の方法	PPT を用いて講義形式で進行する。アクティブ・ラーニングを取り入れる。						
学習成果	L01	問題の発見と根拠に基づいた論理的な思考で結論を導きだすことができる。					
	L02						
	L03						
	L04	現代の国際社会で必要な知識・教養を諸外国の文化に関する知識を習得し、議論することができる。					
課題に対するフィードバック	授業中に返却する。						
教科書/参考図書	指定の教科書なし。						
履修上の留意点やルール等	問題意識を持ちながら受講する。 授業の事前学習・復習をする。その目安時間:180 分						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業準備をして受講している。 積極的に授業に取り組み、質問している。	30			
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	中間テスト 論述問題 10 点。 本試験 穴埋め問題(2 点×25 問)・論述問題 10 点。				70
その他					
合計		30			70

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス
	事前・事後学習	ガイダンスでの説明内容に基づき受講を検討し、決心する。
2	授業内容	文化の枠 カルチュラル・スタディーズとは何か・記号と解読
	事前・事後学習	「文化の定義」としてのカルチュラル・スタディーズに関する復習。
3	授業内容	神話と文化(1) 古代エジプトの信仰—ミイラ・太陽暦・ピラミッド—
	事前・事後学習	古代エジプトの文化に関する予習・復習。
4	授業内容	神話と文化(2) ギリシャ神話とローマ神話
	事前・事後学習	ローマ神話の概説とギリシャ神話との関係に関する予習・復習。
5	授業内容	宗教と文化 ユダヤ教とキリスト教
	事前・事後学習	ユダヤ教・キリスト教の概説に関する予習・復習。
6	授業内容	イスラム教と錬金術
	事前・事後学習	イスラム教と錬金術に関する予習・復習。
7	授業内容	イタリアのルネサンス文化 芸術と発明
	事前・事後学習	ルネサンス文化に関する予習・復習。
8	授業内容	ドイツのグリム童話と日本のおとぎ話
	事前・事後学習	グリム童話とおとぎ話に関する予習・復習。
9	授業内容	中間試験
	事前・事後学習	中間試験の準備(試験範囲:第 2 回～第 8 回)。
10	授業内容	イギリスの科学革命と科学思想
	事前・事後学習	イギリスの雅楽革命に関する予習・復習。
11	授業内容	フランス革命と芸術・美食文化
	事前・事後学習	フランス革命に関する予習・復習。
12	授業内容	アメリカの航空・IT 技術と権利の主張
	事前・事後学習	アメリカの諸技術に関する予習・復習。
13	授業内容	中国の屠蘇と喫茶文化
	事前・事後学習	中国の歴史と喫茶文化に関する予習・復習。
14	授業内容	日本の宗教と伝統芸能
	事前・事後学習	日本の宗教に関する知識と伝統芸能に関する予習・復習。
15	授業内容	授業内容のまとめ・本試験
	事前・事後学習	本試験(試験範囲:第 2 回～第 14 回)。